

40歳から学ぶ 介護保険

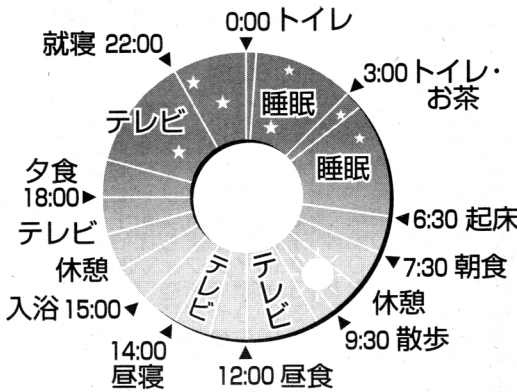
柴本 美佐代

A 在宅での介護はケア次第と言っても過言ではないほど、役割は重要です。主な仕事はケアプランを作ることです。ケアプランとは1カ月単位で作成される「介護が必要な人の暮らしの計画」と思えばよいでしょう。

Q 介護保険を利用するにはケアマネジャー（介護支援専門員）が必要になると聞きましたが、実際にはどんな役割を果たすのですか？

Question 6 ケアマネの役割って？

ケアプラン作成時に
1日のスケジュールを整理してみよう



ケアプランによって、お風呂は週何回入るのか、掃除や洗濯、デイサービスなどの外出の回数、食事の時間も決まります。介護を受ける人の生活だけでなく、一緒に暮らす人の生活のリズムもケアプラン次第ということになります。ケアプランは生活習慣の改善も目的としています。善も目的としています。家族全体の生活も左右するのでも必要でしょう。例えば、早朝に起きて夜早く寝る家庭と、朝ゆっくり起きて夜は日付が変わってから寝る家庭のケアプランが同じで良いとは思えません。また、本人が気の進まないデイサービスに嫌々行くのではなく、本人が行きたいと思うようなデイサービスを選ぶ自由も尊重されるべきでしょう。365日24時間の家族介護の負担も正しく軽減

生活の質に直結、ケアプランを作る

しないと、続けられなくなりますが、

また、経済的な負担軽減のための工夫も必要です。ケアマネの資質が問われる理由は、ケアプランによって暮らしの質が左右されるからです。ケアプランを作る時に、本人のこれまでの1日の生活を24時間の円グラフに書き込み、年間のカレンダーに家族や地域の行事などを記入して、朝風呂が好き、マッサージがしたい、一緒に散歩したいなどの希望もメモで伝えるなどの情報提供をしましょう。介護が必要になってからもその人らしく生活するために、ケアマネに何でも頼るのではなく、一緒にケアプランを考えるような積極的な関わり方も必要でしょう。

(日本エルターライフ協会代表理事)